(ホ) 最近の年次別人口動態の推移
(ヘ) 自然増加率の年次別比較
(ト) 年次別乳児死亡及新生児死亡比較
(チ) 最近の婚姻、離婚の動き
(リ) 部落別人口増減
(ヌ) 年次別死産率比較
(ル) 人口動態出生率、死亡率年度別比較

三、一般保健衛生の概況として（衛生統計、医療統計）

死因関係、伝染画及び食中毒、一般住民結核検診の状況、成人病、精神病の状況、保健婦活動、生活改善及び栄養摂取の状況等を重点におき国保財政の赤字で頭を痛めている当町の問題を掘り下げてみた。

1．死因関係
(イ) 五才階級別死亡者数
(ロ) 年令階級別主要死因別死亡者数及び率
(ハ) 五十才以上の死亡比率（PMI値）
(ニ) 年次別主要死因別死亡率比較
(ホ) 年次別主要死因死亡者数及び率
(ヘ) 全死亡の脳卒中、老すい、悪性新生物の占める割合
(ト) 昭和三九年度地区別主要死因別死亡数
(チ) 悪性新生物による死亡者
(リ) 中枢神経系の血管損傷による死亡者
(ヌ) 心臓その他循環器疾患及び老すい、診断不明確の死亡者

2．伝染病及び食中毒の状況
(イ) 最近一〇年間における伝染病及び食中毒発生数
3．一般住民結核健康診断の状況
(イ) 城南町と郡内町村とのレントゲン検診成績の比較
(ロ) 一般住民検診結果表
(ハ) 年度別郡内町村別一般住民X線受診成績
(ニ) 一般住民間持未受診者理由
(ホ) 一般住民精密検診結果
(ヘ) 昭和三九年度郡内村別一般住民結核精密検診結果
(ト) 結核登録患者数（活動性分類年令階級別）
(チ) 年令階級別結核患者の新登録者数
(リ) 年令別結核統計表
(ヌ) 郡内町村結核登録患者数及び率
(ル) 郡内町村別結核登録患者の推移
(ヲ) 年度別結核登録患者の推移表
(ワ) 部落別結核登録患者数
(カ) 結核患者校区別数
4．成人病の状況
五〇才以上成人病検査（高血圧）成績
5．精神病の状況
精神病患者調査表
6．保健活動
(イ) 時間別処理の割合
(ロ) 年度別実施状況
7．生活改善の状況
(イ) 城南町生活改善実施状況
(ロ) 家庭管理家庭経済に関する改善実績
(ハ) 共同施設の設置利用及び共同作業実績
(ニ) 家事能率化の為の電気器具利用実績
(ホ) 城南町栄養摂取状況
(ヘ) 城南町（藤山）栄養失調症候発現数及率
(ト) 栄養素の比率と栄養失調症候発現率
(チ) 城南町栄養改善事業
(リ) 成人一人一日当り熱量蛋白質摂取分布表

四、環境衛生（衛生統計）

環境衛生の良否は、住民の健康を左右するものであることは言をまたない。城南町は特に伝染病の媒介体である衛生害虫、ねづみ駆除を重点事業として実施してきたが、環境衛生の問題は地区住民が自らの問題として積極的協力なくしては効果は期待できない。又環境衛生の改善向上は、たずねづみ、衛生害虫の駆除のみで改善されるべきものではなく、発生源対策や、施設の整備が併行して実施される必要がある。そこで個々の点について資料を収集されている。

1．そ族昆虫駆除と地区組織活動の状況
(イ) そ族昆虫駆除事業の状況
(ロ) 地区衛生組織の活動状況
(ハ) 自主的に実施協力している組織の区分
2．し尿、ごみ処理に関して
(イ) し尿
(ロ) ごみ
3．上下水道について
(イ) 水道施設数
(ロ) 給水人口
(ハ) 水質検査
(ニ) 下水道状況
4．狂犬病予防について
(イ) 飼育犬登録状況
(ロ) 予防注射の状況
(ハ) 捕獲犬の状況
5．火葬場（墓地）について
(イ) 城南町の埋火葬の状況
(ロ) 城南町の墓地の状況

五、学校保健（学校保健統計）

全国的にみると九州地区は、身長、体重、胸囲、座高等の体位が劣っているとされているので健康についての年間教育計画と栄養改善指導の面や、保健管理の面から資料を収集している。当町には、小学校四校、中学校二校、高校分室又は町営の保育所があり、特に町部、村部との学童の体位その他についての比較検討を加えてみた。

1．卒業生従進路状況
(イ) 性別、進学、就職、家事について各学校別
2．健康教育年間計画
(イ) 中学校、小学校別月別計画
3．体位比較
(イ) 学校別学年別身長体重胸囲、座高

(ロ) 部落別学童平均体位調
(ハ) 昭和三九年度学童結核検診結果表
(ニ) 健康診断成績表(ホ)検便成績表
(ヘ) インフルエンザ予防接種実施状況

六、母子保健（衛生統計）

城南町の母子衛生活動は母子愛育会を中心として進められてきた。人口動態率からみると、年々改善の方向にはあるが、乳児死亡率のうち特に、新生児死亡は高く、新生児死亡中未熟児死亡が大半を示している事については、妊産婦対策の強化と保健婦活動の強化を考慮する必要もある。

(イ) 母子保健に関する人口動態諸率の年次推移
(ロ) 過去五年間における原因別乳児死亡者数
(ハ) 出生前及び出生児の原因
(ニ) 出生後の疾病によるもの
(ホ) 昭和三九年度妊娠月別妊婦届
(ヘ) 年度別妊婦検診状況
(ト) 妊婦検診時における主な疾病
(チ) 施設別出生状況
(リ) 出生児数（性別体重別地区別）
(ヌ) 〃（五才階級別母の年令）
(ル) 立合者別出生児数
(ヲ) 乳幼児、三才児検診の状況
(ワ) 愛育会の活動状況

七、生活保護、老人クラブ等の活動状況（福祉統計）

貧因と疾病は切っても切れない深い関係がある事は衆知の事である。生活保護世帯における疾病の状況を掘り下げてみた。更に身体障害者の実状福祉年金の受給状況を明らかにしている。又老人が愉快に意義ある人生を送るため老人クラブが結成されているが、その実情を知るため資料を収集してみた。

(イ) 被保護者世帯数実人員保護率の推移
(ロ) 城南町地区別保護率
(ハ) 昭和三九年度生産保護による秩序実施状況
(ニ) 昭和三九年度月別生活保護実施状況
(ホ) 昭和三九年度月別医療秩序実施状況
(ヘ) 身体障害者区分
(ト) 障害別職業区分
(チ) 身体障害者手帳交付状況
(リ) 要厚生、医療給付数
(ヌ) 身体障害者の生活程度
(ル) 要補装具交付修理数
(ヲ) 福祉年金受給状況
(ワ) 老人クラブの状況

八、国民健康保険の概況

城南町に於ける国民健康保険事業の開始は、昭和三〇年三月一日で全町実施は、昭和三二年四月一日である。現在の国保加入世帯数は二千五三三戸、戸被保険者は一万一、〇四一人で加入率は全人口の八〇％である。又町の国

共保の手引

共同保健計画における保健所の仕事

保健所が考えなければならない最も重要なことは、市町村の保健計画は、市町村自身の問題であり、これで実績があがったなら、それは、市町村自身の功である。という点である。保健所は公衆衛生の立場から協力、援助が主体で、また必要な技術指導を教育的にすすめてゆくことが大切である。

イ、人口動態統計資料

出生、死亡、死産、婚姻、離婚について各市町村ごとの数字や率と全国県、保健所管内の平均の数値と比べて作成する。殊に出生数、未熟児出生割合、施設分娩の割合、年令別、性別、主要死因別、死亡数および率、乳児死亡および新生児死亡の状況等はその中でも特に大切なものである。

ロ、衛生統計

法定伝染病、結核、性病、その他の届出伝染病を市町村別に整理する。3～5年の数値があれば好都合であろう。罹病率だけでなく致死率の資料もよく整える必要がある。結核、母子、寄生虫などについては届出のみでなく事業関係の統計も衛生統計にあわせて整理した方がよい。

ハ、保健所事業統計

最も大切なのは年間に、その市町村に対して、どれほどの事業や労力を投入したか、その結果、どんなものが得られたかを示すことである。事業の形態を健康相談、集団検診および予防接種、衛生教育、監視および指導、家庭訪問、防疫および災害活動、行政事務折衝、会合等に区分すると、事業が数量化しやすい。

ニ、職員の意見

保健婦、栄養士、監視員、衛生教育などの現場職員が、年間その市町村で活動して気付いている問題点を簡潔に要約したり、また、非常に印象の深い役に立つ事例があれば、その一、二の提出を得て要約することも役に立つであろう。

今まで保健所は市町村に報告を求めることのみ多く、あまりその結果を還元しなかった。また難解な統計表のみを渡しただけでは関係者以外は読む気がしないであろうし、またいわゆる役所式の書類のみでは民間の人々には興味がわかないであろう。